

知求会ニュース

2003年5月

第5号

◎ 教員・職員人事異動

石橋純助教授

比較文化研究講座所属の石橋先生が3月31日付で、東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻中南米分科に移動されました。先生は3年間という短期間でしたが、学部と研究科に新たな知見を披露していただき、多くの学生が刺激を受けたことと思います。本当に、いろいろありがとうございました。

先生の今後のご活躍とご健康を祈念し、また知求会交流会で再会できることを楽しみにしています。

櫻井キミ子専門職員

国際学部事務部所属の櫻井さんが3月31日付で、在職42年をもって定年退職されました。国際学研究科の4年間と国際学部設立を含めた通算8年という間、裏方として今日の基盤を支えてこられました。本当に長い間お疲れ様でした。また、後任には、留学センターから専門職員の稲見正子さんが4月1日付で着任されました。

高橋敏男事務長

国際学部事務長の高橋さんが農学部事務長に4月1日付で移動されました。後任には、増淵勘事務長が着任されました。

◎ 2002年度学位授与式報告

2003年3月25日火曜日午後1時15分から国際学部大会議室にて開催されました。

今年度の修了生は、国際社会研究専攻 日下共司さん(学校勤務)・古屋敷幹さん(田窪就職・上海在勤)・高橋苗々子さん・津國若奈さん(グアム大学留学)・人見陽子さん(秋に結婚)・降旗幹子さん(自治医科大学地域医療教室就職)・関海栄さん(就職)・金仁錫さん(韓国・泗川郵便通局勤務)・朱小潔さん(古河電工就職)・陳曉鶯さん(TBC スキヤット就職)・湯濱さん(フジオーネ・テクノ・ソリューションズ就職)・イスマイル・ファウザさん(マレーシア帰国)・叶麗さん(三菱重機就職)・中川絢子さん・肥留川紀子さん(テクノ・ジャパン就職)・李鐘元さん(進学)の16名と国際文化研究専攻 石川美和さん(ヒューマン・アカデミー勤務)・清水貞子さん・平山由紀子さん(ジョンソン・マッセイ・ジャパン勤務)・キロワ・スベトラさん(名古屋大学大学院進学)・張紅さん(日立製作所就職)・清地ゆき子さん(セントメリー日本語学院勤務)・高尾明子さんの7名で、計23名でした。

記念撮影の写真は、みなくるねっと(<http://www.minakuru.net>)のアルバムで見られます。今年は、学校側の采配で全員集合写真となっています。

◎ 2003年度新入生紹介

2003年4月8日火曜日午後1時30分から宇都宮市民会館にて入学式が開催されました。入学者は、国際社会研究専攻18名(うち留学生7名)と国際文化研究専攻14名(うち留学生8名)の合計32名です。4期生同様半数が外国人という構成が特徴になっています。また、宇都宮大学学部出身者が11名です。

◎ 進学おめでとう！

土屋伸夫(国際文化研究専攻・1期生)さんは、今春筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科芸術学専攻に進学されました。また、キロワ・スベトラ(国際文化研究専攻・3期生)さんは、名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程に進学されました。海外留学としては、津國若奈(国際社会研究専攻・3期生)さんがグアム大学に進学されます。お三人の今後の研究成果が期待されます。これまでの進学者は、一橋大学大学院の陳激さん・御茶ノ水女子大学大学院の李尚珍さん・杏林大学大学院の高橋豊さん・滋賀県立大学大学院の阿迪雅さん達です。留学者は、カナダ留学のイワノア・ゲルガナ・エンチェワさんとスリランカ留学の滝川悦子さんです。

◎ 国際学術交流協定締結

宇都宮大学は香港大学と本年3月27日に、国際学術交流協定を締結しました。1911年創立の香港大学(HPは<http://www.hku.hk>)は香港を代表する伝統校です。また大学間交流協定締結校は現在19校で、国際学部所管の提携校として復旦大学(中国・上海)、ビクトリア工科大学(オーストラリア)、祥明大学校(韓国)、ノーザン・ブリティッシュ・コロンビア大学(カナダ)、エアランゲン・ニュールンベルク・フリードリッヒ・アレクサンダー大学(ドイツ)、国立台湾師範大学(台湾)の6校になっています。

◎ 第2回交流会開催案内

今年の第2回交流会は、東京支部主催により**2003(平成15)年7月12日(土曜日)の午後1時から3時まで**、東京・西新宿の**新宿三井クラブ**(<http://www.shinjukumitsuiclub.gr.jp>)で開催します。東京在住の会員を中心に、皆様のご出席をお待ちしていますので、手帳に第2回交流会の参加記入をお願いします。会費は、6,000円(ただし、在校生は3,000円) 出欠確認は、後日改めてメールなどでお知らせします。

フォーラム 第4号からこのコーナーをラテン語のフォーラムとします。第2号から、修了生・在学生から記事を募っています。毎号何人かの記事をリレー形式で継続させていきますので、今後の展開を楽しみにして下さい。(原稿集めに苦労しています。) 春を彩った桜色から青葉若葉が美しい季節に移り変わりました。皆様、新たな職場や生活環境で落ち着きましたか?今回、第5号に寄稿をお願いしたのは、現在ドイ

ツ・エアランゲン大学に留学中である文化の高橋さんと社会の柄木田研究室 OB の人見さんです。ぜひ、最後までご一読下さい。また、ご意見などありましたら、知求会ニュースに投稿するか次回交流会の席で本人を交えて議論を楽しんでいただけたら幸いです。

◎ 3期生修了記念寄稿

「道」

人見 陽子

「道」という言葉を聞いて、どのような道をイメージするだろうか。まっすぐな道、曲がりくねった道、舗装された広い道、田舎の土手道、ライトアップされた道、高速道路、入り組んだ細道、雪道や山道…おそらく十人十色。その人なりの道をイメージし、きっとそれがその人の「生き方の道」でもあるのだろう。そして、その道の上で、たくさんの人に会って別れ、楽しい思いや辛い思いを経験し、迷ったりするのだろう。

私は？と言え、28年間歩んできた道は、子供の頃に想像していた道とは違うものであるような気がする。中学生くらいまでは、誰かに強要されたわけではないが、田舎の優等生の道を何の迷いも無く進んできた。通信簿は5を取るのが当たり前で、将来は地元の公務員か学校の先生…。でも楽しくなかった。イジメたりイジメ返されたり、過食症とダイエットを繰り返したり、現実を見たくなくて外国映画の世界に逃避したり。

人生には様々な道があり、それぞれが素晴らしいのだと感じられるようになったのは、大学進学のため親元を離れ、埼玉で1人暮らしをするようになってからだった。都会の多様なスタイル、恋愛、大学の講義、全てが新鮮だった。なかでも、国際関係論を通じて世界に目を向けるようになった時、勉強も人生も楽しいと思えるようになった。アルバイト代を貯めて、アメリカ、ロシア、タヒチなど海外に出るようになり、何かの縁で交わりあった交差点で、文化も価値観も異なる世界中の人たちと出会って、道を広げてきた。

大学卒業後は、思うようにいかない人生に迷いつつ、それでも必死で自分の道を探そうと模索してきた。回り道も寄り道もしたけれど、当初から希望していた海外での生活と大学院進学を達成。宇都宮大学大学院での2年間の生活は、自営の英語塾との両立で大変だったが、ある程度満足できる論文を書きあげることが出来、さらに、多くの仲間を出会うことが出来、貴重な2年間であったと感じている。

私の道は、修士号を取得しても、まだはっきりとは定まっていない。唯一、当初の予定とは異なってハッキリ定まったことは、これからは一人ではなくパートナーと二人で共通の道を歩んでいくことであり、それは心から幸せだと思えることだ。人の縁とは本当に不思議なもので、婚約者と初めて会ったのは、オーストラリアで私が人生の道に迷い苦しんでいた時だった。大学院進学後間もなく付き合い始め、修士論文完成後に正式に婚約した。

これまでは、身近な草花が美しいということに気づかず、自分の能力の限界を超えた所に高嶺の花を求めていたが、別の幸せを見つけたこれからは、夢を諦めるのではなく、二人のスタイルとペースで、一緒に進むべき道を選択し、小さな草花にも感動や喜びを見つけ、障害があるときは、共に支えあってそれを乗り越えていきたい。

人生には、まだまだ面白そうな道がたくさんありそうだ。

(国際学研究科 国際社会研究専攻 第3期修了生)

◎ 3期生留学体験記寄稿

「ドイツ推考 —あいまいなものの排除の行く末—」

高橋 美貴子

本人の申し出により掲載を割愛しました。

本人の申し出により掲載を割愛しました。

(国際学研究科 国際文化研究専攻 第3期在学学生)

編集後記：限られた時間でのニュース発行、同窓生の皆さんのご感想はいかがでしたか？ぜひ、今後の紙面に反映させていきたいと思っておりますので、メールを下さい。また、皆さんの記事も受け付けますので、近況報告や研究報告などさまざまな情報をお寄せいただければ幸いです。 **同窓会会員の皆様へのお願い**：
住所、勤務先およびメールアドレスの変更の際は事務局へメールして下さい。 global@minakuru.net

宇都宮大学大学院国際学研究科同窓会